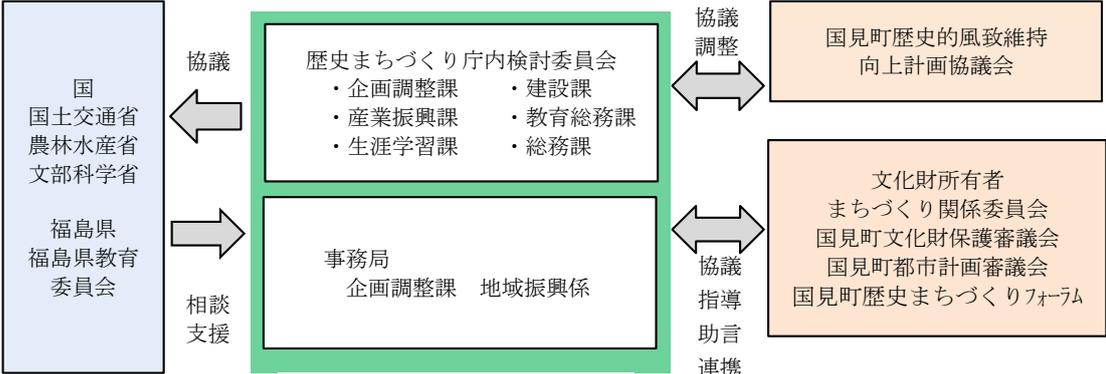


**令和5年度進行管理・評価シート**  
**国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）**  
（最終変更 令和5年3月30日）

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携	.....	2
2 景観計画策定に向けた取り組み	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	.....	4
2 無形民俗文化財活動支援事業	.....	5
3 国見町歴史文化読本作成事業	.....	6
4 歴史を活かしたまちづくり推進事業	.....	7
5 案内ボランティア育成事業	.....	8
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の維持・修理に関する取組	.....	9
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	.....	10
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組	.....	11
4 文化財の防災・防犯に関する取組	.....	12
5・6 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	.....	13～14
7 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	.....	15
8 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	.....	16
9 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組	.....	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 歴史ウォーク国見の史跡200人が巡る	.....	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	.....	19
<b>口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	<b>20</b>

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和5年度																								
項目		現在の状況																									
計画の実現に向けた推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																									
計画に記載している内容	歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。																										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																											
第10回国見町歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、進捗状況の確認、報告・協議を行った。また歴史まちづくり庁内検討委員会を持ち回りで開催し、進捗状況の確認、今後の事業スケジュール、事業実施の調整等を協議した。																											
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																										
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴まち計画のⅡ期計画について具体的に検討を進めていく必要がある。																										
状況を示す写真や資料等																											
 <p style="text-align: center;">■計画の推進体制図</p>																											
<p>●令和5年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>総務課長</td> <td>1名</td> <td>財政係</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>建設課長</td> <td>1名</td> <td>建設係</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>産業振興課長</td> <td>1名</td> <td>商工観光係</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>教育総務課長</td> <td>1名</td> <td>こども教育係</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長</td> <td>1名</td> <td>生涯学習係</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>管理係</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				総務課長	1名	財政係	1名	建設課長	1名	建設係	1名	産業振興課長	1名	商工観光係	1名	教育総務課長	1名	こども教育係	1名	生涯学習課長	1名	生涯学習係	1名	管理係	1名		
総務課長	1名	財政係	1名																								
建設課長	1名	建設係	1名																								
産業振興課長	1名	商工観光係	1名																								
教育総務課長	1名	こども教育係	1名																								
生涯学習課長	1名	生涯学習係	1名																								
管理係	1名																										
<p>●会議の状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>会議名称</th> <th>開催年月日</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史まちづくり庁内検討委員会(持ち回り)</td> <td>令和5年5月11日</td> <td>令和4年度進行管理評価・中間評価等</td> </tr> <tr> <td>第10回国見町歴史的風致維持向上計画協議会</td> <td>令和5年5月17日</td> <td>令和4年度進行管理評価・中間評価等</td> </tr> </tbody> </table>				会議名称	開催年月日	概要	歴史まちづくり庁内検討委員会(持ち回り)	令和5年5月11日	令和4年度進行管理評価・中間評価等	第10回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和5年5月17日	令和4年度進行管理評価・中間評価等															
会議名称	開催年月日	概要																									
歴史まちづくり庁内検討委員会(持ち回り)	令和5年5月11日	令和4年度進行管理評価・中間評価等																									
第10回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和5年5月17日	令和4年度進行管理評価・中間評価等																									

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

【都市計画との連携】「県北都市計画区域」に指定され、都市計画との適切な連携を図ることで、良好な市街地と街並み景観が形成されていくよう誘導を図っていく。

【景観法との連携】「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定され、届出が必要な行為及び景観形成基準が定められ、一定規模以上の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。

【屋外広告物法との連携】「福島県屋外広告物条例」により、「良好な景観の形成」及び「歴史的風致の維持」などの観点から、町的美観や自然景観を損なわないような規制が定められている。

【阿津賀志山防塁保存管理計画】文化財保護法に即して策定された「阿津賀志山防塁保存管理計画」により、7つの管理基準に基づき、規制及び今後の保存方針が示され、適切な保存・管理が図られている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

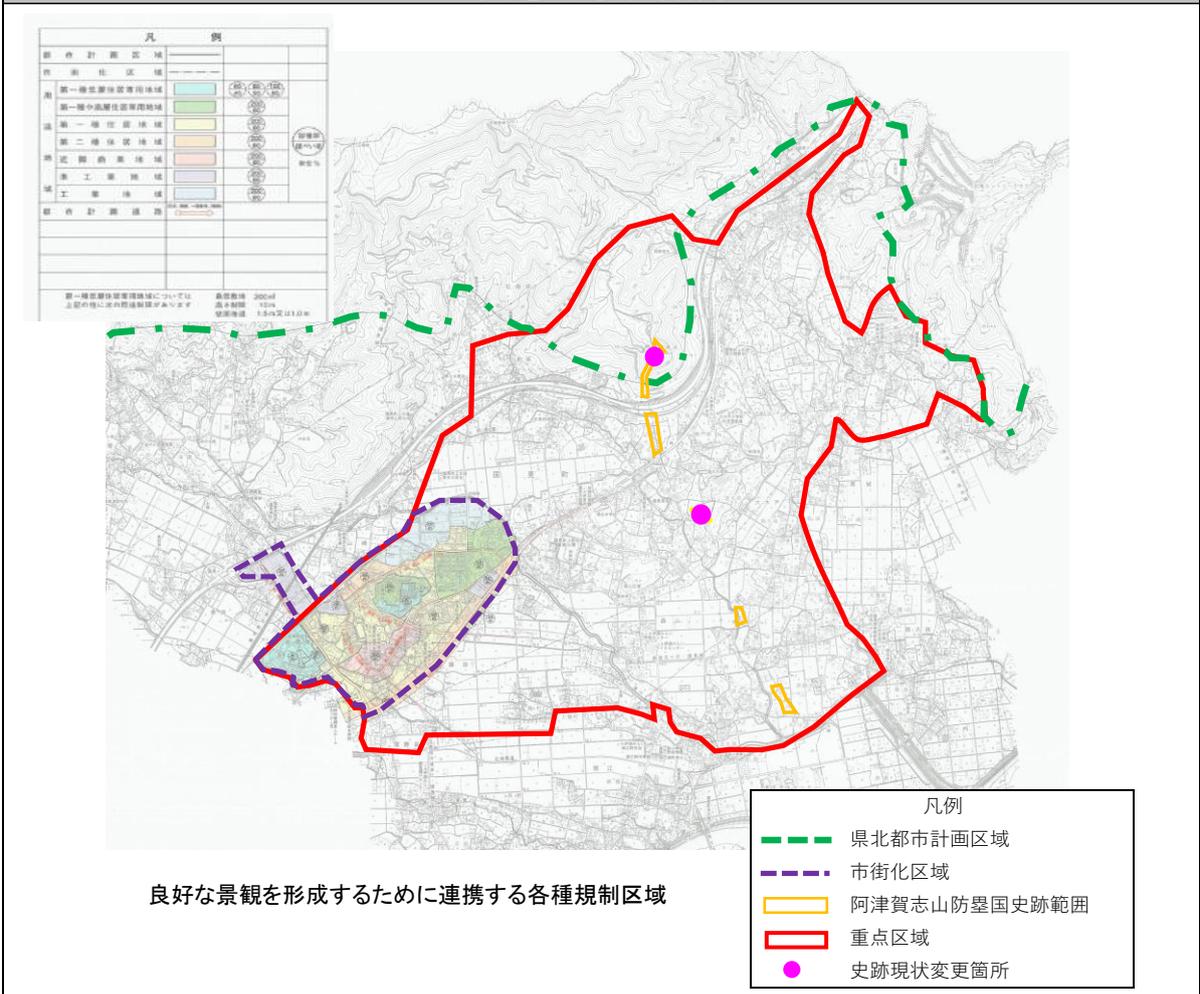
重点区域を含む町内を規制している県北都市計画区域・福島県景観計画・福島県屋外広告物条例および、阿津賀志山防塁の規制と保存方針を示した同保存管理計画の規定に基づき、開発等の届出・申請が必要な行為に対し、助言や手続きを行った。

令和5年度実績

- ・福島県屋外広告物条例(特別規制区域・普通規制区域) 届出20件【建設課所管】
- ・阿津賀志山防塁(国指定史跡範囲) 現状変更申請 2件 (※軽微な変更含む)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
景観計画策定に向けた取り組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
本町には、奥羽山脈を西に擁し、雄大な山並みと阿武隈川の恵みを背景に美しい田園風景が広がる農村景観、および奥州街道・羽州街道沿いに形成された街道集落を中心とする歴史的景観、旧宿場町を母体とする都市景観など、多様で良好な景観が形成されている。歴史遺産とともに、雄大な山並みと一体となった景観を維持し、後世に継承するため、景観行政団体へ移行するとともに、景観法に基づく景観計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
地域に残る歴史や文化、自然を守り、活かしながら、周辺の景観と調和した良好なまち並み・景観の形成を図るため、景観行政団体として取り組むべき景観施策を明らかにした上で、今後の国見町における景観づくりの方針等を示した景観計画を平成30年度より策定に向けた取り組みをしている。  
令和5年度実績  
・景観計画策定に向け、昨年度までに実施した町民アンケート結果や団体からのヒアリング内容を集約しながら、「国見町歴史的景観保存計画(素案)」の本文部分の作り込みを建設課で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「国見町歴史的景観保存計画(素案)」について、早期の策定を目指す。

状況を示す写真や資料等

国見町歴史的景観保存計画(素案)(一部)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和5年度 現在の状況
阿津賀志山防塁史跡整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和6年度
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業
計画に記載している内容	史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要な情報を得る為の、史跡内容確認調査を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年度に追加指定となった遠矢崎地区において、公有地化事業および立木伐採事業を行った。 ①【遠矢崎地区】公有地化事業(7筆、2137.6㎡) ②【遠矢崎地区】立木伐採事業(令和5年12月1日～令和6年1月31日) ③防塁整備計画の進捗管理、今後の取り組み等に関わる協議のため調査・整備指導委員会を開催(令和6年3月6日)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き公有地化・活用について推進するため、確認調査等を実施していく。
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>阿津賀志山防塁位置図</p> <p>公有地化・立木伐採箇所</p> <p>26次調査地区</p> <p>遠矢崎地区</p> <p>既指定範囲 追加指定手続き地区</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>調査・指導整備委員会を開催 3月6日</p> </div> </div>	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①町指定無形民俗文化財の保護団体である2団体に対し、文化財保護育成にかかる活動について助成(国見町社会教育関係団体補助金)を行った。
- ②太々神楽の継承を図る子ども太々神楽教室を支援し、チラシの作成や周知を行った。周知については教育総務課と連携して行った。
- ③小学校での総合学習での披露や、あつかし歴史館で行われる「あつかしまつり」に出演し、発表した。
- ④文化庁の補助事業(地域文化財総合活用推進事業)を活用し、神楽衣装12着の新調を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

補助事業を活用し、衣装の新調を行い、団体の継続の一助となった。伝統芸能の継承のため、今後もサポートをしていく。

状況を示す写真や資料等

■子ども太々神楽教室

明治時代より伝わる内谷春日神社太々神楽を後世に伝えるため、9月から10月にかけて練習が行われた。10月21日にはあつかし歴史館の「あつかしまつり」に出演し、太々神楽を披露した。



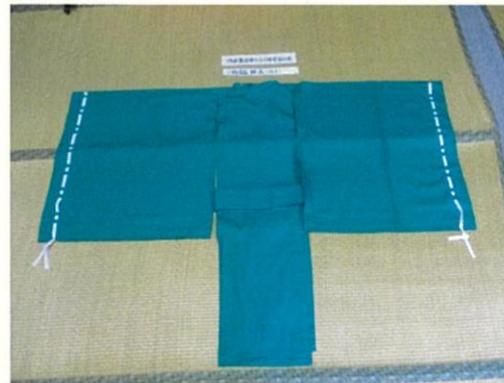
内谷春日神社例大祭 神楽奉納



あつかしまつり公演



神楽衣装の新調前



神楽衣装の新調後

■無形民俗文化財支援

タイトル	概要
内谷春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)
子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室の参加者募集に関する支援
神楽衣装の新調	衣装新調に関する支援

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
国見町歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 阿津賀志山の合戦、鹿島神社の例大祭など各地の歴史や史跡・建造物と人々の活動をそれぞれのテーマ毎に調査成果をまとめ、「歴史文化読本」(仮称)を作成する。また小中学校の授業とも連携し『国見学』を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に町の文化財や人々の活動等の周知啓発を図るため、歴史や文化財を網羅し小中学生や来町者に分かりやすく、歴史めぐりができる「くにみ歴史本」を4000部作成した。今年度も教育総務課と連携し、町内の小中学生に配布し、小学校の歴史フィールドワークや中学校の歴史学習にて教材として活用した。町の歴史や文化への理解を深めるために活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

「くにみ歴史本」については継続して活用していく。

状況を示す写真や資料等



国見小学校「歴史フィールドワーク」



県北中学校総合学習「歴史学習」



「くにみ歴史本」表紙

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力の再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもったワークショップ等を開催した。  
 ①あつかし千年公園を会場に、(一社)二重堀サポートネットワークと協力し、蓮まつりを7月の土日祝の期間で開催した。(約2200名来場)蓮まつりでは案内ガイドや各種ワークショップを行った。  
 ②国見町歴史まちづくりシンポジウムを開催し、国登録有形文化財松田家当主等が登壇し、対談形式でのシンポジウムを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

地域住民の意識醸成のため、多くの方を巻き込めるようなシンポジウムのテーマ、講師などを検討していく。

状況を示す写真や資料等



蓮まつりの様子



蓮まつり 土器づくり体験



国見町歴史まちづくりシンポジウム

評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
案内ボランティア育成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和6年度		
支援事業名	町単独事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語る事ができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在、案内ガイド「くにみ案内人」は16名が登録。また、国見町文化財センターあつかし歴史館の館内を案内するボランティア「あつかし歴史館サポーター」は15名が登録している。歴史館サポーター研修について、年4回の研修会を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイドの資質向上と、多くの来町者への対応力育成を継続的に行う必要がある。		

状況を示す写真や資料等



第2回サポーター研修会(7月8日)  
場所)じよーもびあ宮畑(福島市)



第3回サポーター研修会(10月14日)  
企画展示の解説を通して町内文化財を伝える研修  
(場所)あつかし歴史館 展示室

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
----	--------	-------

文化財の維持・修理に関する取組	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	-------	---

計画に記載している内容 経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所
- ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 4回実施
- ③文化財パトロールの実施
- ④令和4年3月16日発生の福島県沖地震で被害のあった旧佐藤家住宅について災害復旧工事を完了した。また、奥山家住宅洋館および主屋について復旧工事が完了した。
- ⑤文化財の管理・修理に対して4件補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	毎年のように発生する地震や自然災害の影響により、歴史的建造物の維持が困難となっている。保存活用していくために大規模改修等が必要であるが、財源確保が課題となっている。町では令和3年に国登録有形文化財への管理・修理への補助金の拡充をした。また、国の災害復旧補助事業も令和4年10月に創設され、これらを活用し多発する自然災害への対応を図っていく。
--	--

状況を示す写真や資料等



施工前



施工後

町登録「佐藤家住宅」間仕切り壁の修繕



施工前



施工後

3/16発生福島県沖地震により被害のあった文化財復旧  
(国登録「奥山家住宅主屋」の内壁修繕)

評価軸④-2  
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町は、国見町親月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国見町文化財センター「あつかし歴史館」の施設機能向上とともに、利用者が足を運びやすい企画・展示をタイムリーに実施することで、町の文化財に対する理解を深めてもらうきっかけとした。 ・歴史館のイベントに合わせ、季節・年中行事を取り込んだ部分展示を実施した。 ・研修室を第2展示室とし、歴史に触れる機会を増やすため、企画展を2回実施した。 ・あつかし歴史館に保存・展示している町郷土史家・故菊池利雄先生の研究資料を町民向けに解説する歴史講座を計12回開催し、延べ743人が受講した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		歴史館イベントについてコロナ禍前の形態での開催とすることができた。 地元根付いた歴史館として引き続き運営をしていく。	
状況を示す写真や資料等			



歴史館第2研修室での展示



歴史館に足を運ぶ機会を増やすための花畑の試み



歴史館イベントに合わせた雛人形展示



歴史館歴史講座

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の周辺環境の保全に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①藤田城跡公園において、倒木により隣地へ影響を及ぼす恐れのある樹木について伐採を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

文化財の周辺環境について改善を図っていく。

状況を示す写真や資料等



評価軸④-4  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の防災・防犯に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①防火に対する取組
  - ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月28日)
  - ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知する広報実施
- ②防犯に対する取組
  - ・文化財パトロールの実施(随時)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	関係団体と連携し、取り組みを継続する。

状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子 町指定天然記念物「深山神社の大榎大藤」

1月26日は「文化財防火デー」です

昭和24年1月26日、法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂から出火し、飛鳥時代を代表する貴重な壁画が焼損してしまいました。このことをきっかけに昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年に「文化財防火デー」が定められました。以来、この日を中心に全国各地で文化財防火運動が展開されています。

フランスのノートルダム大聖堂や沖縄県那覇市の首里城など、火災による文化財の焼失が残念ながら後を絶ちません。町の宝である文化財を未来に伝えていくためにも、文化財保護へのご協力をお願いします。

【福島県教育委員会・国見町教育委員会】  
企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967

【文化財防火デーによる消防訓練の実施】

国見町消防団におきましても地区ごとに放水訓練などを実施しますので、お知らせします。

■実施日

1月28日(日)

■場所

- 小坂地区：深山神社(午後1時～)
- 石母田地区：国見神社(午後1時30分～)
- 徳江地区：沼田神社(午後2時～)
- 西大枝地区：深山神社(午後2時30分～)
- 貝田地区：秋葉神社(午後3時～)



☎ 住民防災課危機管理係 ☎ 585-2158

町広報紙(お知らせ版)による周知

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対しての普及・啓発を広く図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、文化財の案内ガイドなどを実施した。  
 学校教育については、教育総務課と連携。歴史探訪ウォーキングについては生涯学習課との連携事業。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の普及・啓発を継続する。

状況を示す写真や資料等



あつかし歴史館での国見町に関わる歴史町民講座の実施



国見町歴史まちづくりシンポジウム

■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
あつかし歴史館イベント	令和5年度	歴史と年中行事にまつわるイベントを年4回実施
町民による歴史探訪ウォーキング	令和5年度	町民による歴史関連遺跡のウォーキング 年3回実施各回30人程度
県北中学校1年生職場訪問	令和5年7月7日	総合学習「国見を知る」歴史館訪問 6人
県北中学校教員初任者研修	令和5年8月3日	県北中学校初任者教員の国見の歴史研修 2人
くにみ小学校校外学習	令和5年9月7日	くにみ小学校6年生のフィールドワーク 34人
国見町歴史まちづくりシンポジウム	令和6年3月9日	対談形式でのシンポジウムを実施 85人
町民講座	各月1回	全12回
くにみ案内人案内件数	令和5年度	29件1352人

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」に、「歴まちさんぽ」と題して、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組について毎月掲載した。(平成29年7月から81回)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 効果的な普及・啓発となるよう工夫を凝らす必要がある。

状況を示す写真や資料等

「広報くにみ 歴まちさんぽ」

評価軸④-7  
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開発に伴う試掘・工事立会などを実施した。 【開発に伴う試掘】 なし 【開発に伴う工事立会】 中屋敷跡・長館跡 各1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護のため、試掘・工事立会が必要な場合は都度実施していく。		
状況を示す写真や資料等			



開発に伴う工事立会(長館跡)



開発に伴う工事立会(中屋敷跡)

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主な事業】

- 国見小学校 総合学習(フィールドワーク:阿津賀志山防塁下二重堀地区、あつかし歴史館)  
(太々神楽講演会:内谷春日神社太々神楽)
- 県北中学校 教諭初任者研修(あつかし歴史館)
- 公民館事業 グループ学習(歴史探求ウォーキング)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の保存・活用のため、各団体等と連携を進める。

状況を示す写真や資料等



国見小学校「総合学習・国見フィールドワーク」



県北中学校「職場訪問」



県北中学校「教諭初任者研修」



公民館事業・グループ学習「歴史探訪ウォーキング」

## 評価軸⑤-1

## 効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和5年度
歴史ウォーク国見の史跡200人が巡る	令和5年5月4日	福島民報
くみに蓮まつり	令和5年7月4日	福島民友
国交省の「ポケGO」取り組み国見町が県内初参加	令和5年8月8日	福島民報
国見の鹿島神社で例大祭	令和5年11月9日	福島民報
国見たてもの探検in松田家	令和5年11月16日	福島民友
火災から文化財守れ	令和6年2月1日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくりに関する取り組みを積極的に報道機関へ情報提供し、発信が図れた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も歴史まちづくりに関する取り組みの情報発信に努める。

状況を示す写真や資料等

- 文化財センターに関する記事
  - ・あつかしまつり(令和5年10月18日 福島民友)
- 祭礼・イベントに関する記事
  - ・歴史ウォーク国見の史跡200人が巡る(令和5年5月4日 福島民報)
  - ・国交省の「ポケGO」取り組み国見町が県内初参加(令和5年8月8日 福島民報)
  - ・国見の鹿島神社で例大祭(令和5年11月9日 福島民報、令和5年11月15日 福島民友)
  - ・ふくしま国見町歴史まちめぐり2023(令和5年12月2日 福島民友)
  - ・火災から文化財守れ(令和6年2月1日 福島民報)
- 阿津賀志山防塁に関する記事
  - ・くみに蓮まつり(令和5年7月4日 福島民友、令和5年7月6日 福島民報)
  - ・中尊寺蓮絵画コンクール(令和5年11月6日 福島民友)
- 文化財の活用に関する記事
  - ・国見で日本文化堪能～ホノルル県人会松田家住宅訪問～(令和5年4月16日 福島民報)
  - ・国見たてもの探検in松田家(令和5年11月16日 福島民友)



文化財防火デー 国見町消防団放水訓練  
(令和6年2月1日記事掲載)



くみに歴史ウォーク

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

計画に記載している内容  
本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和5年度案内ボランティア(くみに案内人)の利用者延べ人数及び利用団体数は1352名、29団体であり、前年度よりは増加となった。また、4年ぶりに奥山家住宅の一般公開を行い、多くの方に見ていただくことができた。第2回となった歴史ウォークにおいては町外の方の多くの参加があり、ウォーキングと文化財ガイドの取り組みに参加者から好評をいただいた。

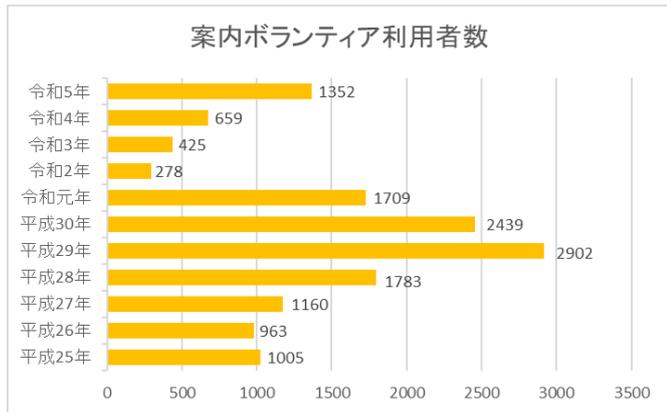
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
■計画の進捗に影響なし  
案内ガイドの健康安全に配慮した活動。  
歴史的建造物の内部一般公開の機会が減少したため、デジタルコンテンツを活用し、魅力をPRしていく。

状況を示す写真や資料等

■案内ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ人数
平成25年	1,005人	14団体
平成26年	963人	13団体
平成27年	1,160人	34団体
平成28年	1,783人	48団体
平成29年	2,902人	70団体
平成30年	2,439人	48団体
令和元年	1,709人	32団体
令和2年	278人	9団体
令和3年	425人	17団体
令和4年	659人	20団体
令和5年	1352人	29団体



■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(65%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)
平成29年9月22日 義経まつり	713名	492名(72%)
平成30年3月4日 奥州街道フードフェスタ	695名	491名(71%)
平成30年9月23日 義経まつり	746名	567名(79%)
令和元年9月23日 義経まつり	622名	500名(80%)
令和2年 義経まつり	中止	-
令和3年 義経まつり	中止	-
令和4年 義経まつり	実施したが工事のため非公開	-
令和5年 義経まつり	351名	-



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第11回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和6年5月31日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【進捗評価について】</p> <p>①案内ガイドについて、こども達に学んでもらうという機会の中で、こども達にガイドをしてもらうキッズガイドという取り組みがある。そういった取り組みをされることで裾野が広がるのではないかなと思う。</p> <p>②国見町歴史まちづくりフォーラムが所有者や団体の意見の集約の場として機能しているとのこと。評価シートの中に意見集約を行っていることが伝わるように記載するといいいのかと思う。</p> <p>③歴まちさんぽの取り組みは素晴らしい。この内容が多く評価シートに組み込まれると良いと思う。</p> <p>④2期を目指す上で大事になってくるのは観光。観光まちづくりとしてどのように発展していくかが重要なポイントと考える。千年公園で蓮まつり2200人集客があったということだが、課題と評価は。</p> <p>⑤交流人口について、町外の方で町を支えてくれる方というのは地域づくりの中ではキーワードとなっている。可能であれば意欲的に取り組んでいただきたい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①今後の取り組みの参考とさせていただきたい。</p> <p>②③追記します。</p> <p>④蓮池について住民主体で管理を行っていることは歴まちの成果と考えている。さらに発展させ、年間通じての活用を図っていきたい。</p> <p>⑤関係人口創出の取り組みを今後も進めていきたい。</p>	